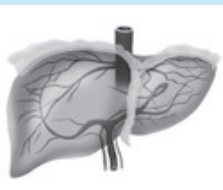




おおいし
大石 正博
市立病院 診療部 副部長 (外科)

肝臓は、肋骨に守られるように右上腹部にあり、重さは体重の約1/50で、成人男性なら1.2kgから1.6kgです。肝臓の働きは、代謝、解毒、胆汁の分泌などです。肝臓は人間の体の中で唯一、自己再生能力をもち、手術で肝臓の70%を切り取っても、3カ月後には大きさと機能を回復します。この再生能力を利用して、肝臓の外科治療が行われています。



以前は、肝臓は血流が豊富な臓器であるため出血のコントロールが難しく、手術は困難を極めました。最近、手術手技の進歩で半数以上の症例で無輸血手術となっています。対象となる疾患は、肝臓、転移性肝腫瘍（主に大腸癌）、胆管癌などです。正常な肝臓であれば、70%の肝臓の切除が可能ですが、もともと肝炎や肝

硬変を合併している患者さん（とくに肝癌）では、切除できる範囲が限られており、肝予備能と腫瘍の十分な評価が必要です。

現在、肝臓のとりすぎによる致命的な肝不全は皆無で、ほとんどの患者さんが術後2週間程度で退院されています。また、肝が再生することを利用して、生体肝移植も行われています。これは、健康者の1/3から2/3の肝臓を切除して移植する方法で、切除された肝臓も1カ月後にはほとんど再生しています。

昨年1月より、ウイルス性肝硬変にも健康保険が適応され経済的負担が軽減されたことから、特殊な治療とされていた肝臓移植手術が、今後、一般的な治療として急速に普及していくことが予想されます。

■問い合わせ先
市立病院総務課 ☎(0857)37-1522

シリーズ
vol.1

環境
大学

今回から、隔月で、鳥取環境大学を紹介していきます。

■問い合わせ先
入試広報課
☎(0857)38-6720



鳥取環境大学は、地元鳥取市などが設立、学校法人により運営される公設民営方式でスタートし、開学以来、環境をはじめさまざまな分野で地域への貢献に務めているところです。市民のみなさんに今まで以上にその存在を認めていただくとともに、地域の若者に関心を持っていただけるよう、本学に関するいろいろな情報を発信していきますので、ご期待ください。

就職内定率 93.8%を達成！
幅広い活躍が期待されます

2005年3月卒業の第1期生は、新設校というハンディキャップを乗り越え、就職内定率93.8%（平成17年3月現在）と大健闘。大手企業や官公庁、県内優良企業に就職しました。
※就職希望者305人、内定者286人

学科内容を紹介します

環境政策学科



経済学や法学などの社会科学を学びの柱として、自然科学的な分野からも環境問題を追究。総合的な見識で、環境保全対策が立案できる人材を育成します。さらに、山陰で唯一、経営ビジネスを専門的に学ぶことができます。

環境デザイン学科



循環型社会の実現をめざし、インテリアなど居住空間のデザインから住宅・建築設計、都市計画まで、自然と調和し環境にやさしい生活空間を総合的にプロデュースできる人材を育成します。

情報システム学科



ハードウェアとソフトウェア、ネットワークに関する高度な知識とスキルを融合し、環境への負荷が少なく、誰もが快適に暮らせる社会を実現する情報システムを構築できる能力を修得。情報技術のスペシャリストを育成します。